令和元年度福岡市文学館企画展

草紅葉 ― 久保猪之吉とより江

「もうあと三度ですね」
いつか恒例の奈多の沙魚釣りで同船のTさんに何気なしに私がさういつたら
「ハア」と変な顔をなすつたことがある。
その最後の沙魚つりも十月の十七日と二十三日とにあつけなくすんでしまつた。（略）
そのあとのあわたゞしさ、全書も雑誌もやむを得ぬ当面のしごとだけにとゞめて、
たゞひたすらに二十八年間の総決算にいそいで居る。

かへりみる径幾すぢや草紅葉　　よりえ

来しかたや同行二人遍路笠

しかし過去ばかり追懐するのには主人も私もまだ早い気がする。（略）

わが生の行路新たなり草紅葉　　ゐの吉

つまりはいつまでも夢を失はないがはの私たちなのであらう。

令和元年11月8日［金］→12月15日［日］

福岡市総合図書館 1階 ギャラリー

久保猪之吉・より江の生涯を追いながら短歌・俳句・小品をご紹介いたします。

観覧時間：10時～19時（日曜・祝日は18時）　休館日：月曜日、12月3日（月末休館日）
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7-1

観覧料：無料

【主 催】福岡市文学館（福岡市文学振興事業実行委員会・福岡市教育委員会）
【後 援】（公財）福岡市文化芸術振興財団

福岡市文学館

企画展関連イベント案内

企画展記念講演会（定員50名）

日時／ 11月17日(日) 14時～15時30分
場所／福岡市総合図書館 3階 第1会議室
演題／「久保猪之吉・より江の短歌」
講師／恒成 美代子氏（歌人・現代歌人協会会員）

読書講座
「久保猪之吉・より江をよむ」（定員各40名）

※一回のみの申込みも可。

【第一回】
日時／ 11月16日(土) 14時～16時
場所／福岡市総合図書館 3階 第2会議室
演題／「本に棲む猫たち」
講師／大久保 京氏（書肆吾輩堂店主）

【第二回】
日時／ 12月1日(日) 14時～16時
場所／福岡市総合図書館 3階 第1会議室
演題／「耳鼻咽喉科のパイオニア久保猪之吉と妻より江」
講師／柴田 浩一氏（医療法人 浩仁会 耳鼻咽喉科 柴田クリニック理事長）

【第三回】
日時／ 12月7日(土) 14時～16時
場所／福岡市総合図書館 3階 第2会議室
演題／「近角常観と文学者たち」
講師／岩田 文昭氏（大阪教育大学教授）

申し込み方法

電話又は、FAX、Eメールで「イベント名・住所・氏名・電話番号」をご記入の上、11月6日(水)までに下記宛先までお申込みください（1人1口）。定員を超えた場合は抽選になります。
（落選者のみ連絡します。）

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7-1
福岡市総合図書館文学・文書課（福岡市文学館）
TEL.092-852-0606 FAX.092-852-0609
Eメール：library-bungaku.BES@city.fukuoka.lg.jp

好評発売中です

福岡市文学館選書6
『久保猪之吉・より江作品集』
四六判、並製本、250頁、解説付き
平成31年3月28日発行。花書院。1,500円+税

◉ 交通のご案内
地 下 鉄／西新駅1下車徒歩15分　西鉄バス／「福岡タワー南口」下車徒歩3分

◉ お問合せ先
福岡市総合図書館 文学・文書課　福岡市早良区百道浜3-7-1
TEL.092-852-0606　FAX.092-852-0609

草紅葉――久保猪之吉とより江

耳鼻咽喉科医、歌人、俳人として知られる久保猪之吉（一八七四～一九三九）は、青年期、苦学しながら進学した第一高等学校で、教員であり、短歌結社浅香社を主宰する落合直文と出会い、短歌への道が開けます。その後、雑誌や新聞へ歌の投稿や、当時の歌界の低迷を憂い、自ら「いかづち会」を起こし、革新的な提言をしました。

明治40（九〇七）年、来福した後は、妻より江の影響により、俳句へと傾倒しますが、生涯において短歌・俳句・評論・小品と積極的に発表し続けました。

久保より江（一八八四～一九四一）は、幼少の頃から夏目漱石や正岡子規と交流を持ち、その才能を見出されます。より江もまた、その文学活動は短歌から出発しており、与謝野鉄幹・晶子が主宰した「明星」には猪之吉と連名で歌を発表しました。

本展では、福岡における文学活動を中心に、ときに夫婦一、ときに「文学の仲間」として創作を続けた久保夫妻とその作品を、多彩な角度から取り上げ、ご紹介いたします。

久保猪之吉

「あまびこ 第二集」（明38.3.3）

「四三会誌」（昭8.3.25）

久保より江

より江旬稿（大13・14頃）

「エニグマ」（大3.6.15）（個人蔵）